



「セレナ」が2024年次「RJCカーオブザイヤー」を受賞

あわせて「RJCテクノロジーオブザイヤー」を受賞

日産自動車株式会社

2023年11月15日

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：内田 誠）は11月14日に実施された、特定非営利活動法人（NPO）「日本自動車研究者・ジャーナリスト会議（RJC）」主催の「第33回（2024年次）RJCカーオブザイヤー」最終選考会において、「セレナ」が「RJCカーオブザイヤー」を、あわせて同モデルに搭載されている「新開発e-POWER専用 HR14DDeエンジン」が「RJCテクノロジーオブザイヤー」を受賞したと発表しました。

各賞の受賞理由に関するRJCのコメントは以下の通りです。

・「RJCカーオブザイヤー」

フル乗車でもゆったり座れる居住空間と高い静粛性、先進運転支援システム「プロパイロット2.0」を採用し、家族が安心して笑顔で過ごせるクルマとなった。手の届きやすいエントリーモデルから最先端装備を施したルキシオンまで、ミニバンに期待される新しい走りの実現を高く評価した。

・「RJCテクノロジーオブザイヤー」

新開発のe-POWER専用設計エンジンで、直噴化、ロングストローク化、圧縮比の最適化などによって燃焼効率を向上。剛性アップやバランスシャフトの採用、常用回転数の低下やナビと連動したエンジン作動タイミングの制御によって静粛性を高めるなど、e-POWERを磨き上げたことを高く評価した。

昨年11月にフルモデルチェンジした新型「セレナ」は、室内空間の広さや利便性の向上に加え、第2世代「e-POWER」によるスムーズで力強い加速や優れた静粛性、ロングドライブをサポートする「プロパイロット2.0」などが多くのお客さまから高く評価いただいており、累計販売台数は先月末時点で6万台を突破しました。